

ティー ユー エイチ エヌ エム
型式 **TUH-N35M**
4460 (加湿量コントロール付)



取扱説明書

〈保証書付〉
裏表紙に付いています。

このたびは、本機をお買い求めいただき、
まことにありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」を
お読みいただき、正しくご使用ください。
- この「取扱説明書」は、大切に保管して
ください。

目 次

1	安全のために必ずお守りください	1～3
2	設置場所について	4
3	各部のなまえとはたらき	5
4	使用前の準備	6
5	使いかた	7
6	日常の点検・手入れ	8
7	修理を依頼される前に	9
8	保管・廃棄のしかた	9
9	仕様	10
10	保証とアフターサービス	10
11	お客様相談窓口	10
	保証書	裏表紙

製品アンケートにご協力ください

製品アンケートはこちらです。

<http://www.toyotomi.jp/aiyou/>

※通信料などはお客様のご負担になります。



1 安全のために必ずお守りください

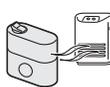
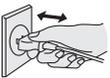
- お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。
--	-----------------------	---	--------------------------

- 説明文中の「お願い」事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

 警告(WARNING)	
<p>●日本国内専用です。電源は交流100V以外で使用しない。100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。</p>   <p>禁止</p>	<p>●直接水をかけたり、水につけたり、浴室内などの水のかかり易い場所や湿気の多い場所で使用しない。水がかかると、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、火災や感電の原因になることがあります。水などがかかったら、使用を中止してお買い求めの販売店または、弊社の「お客様相談窓口」にご相談ください。</p>   <p>水ぬれ禁止</p>
<p>●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。タコ足配線などで定格を超えると、火災や感電や電源プラグの異常発熱や変形の原因になります。</p>   <p>禁止</p>	<p>●可燃性ガス(殺虫剤など)を吹きつけない。また可燃性ガスや腐食性ガスの発生する場所やたまる場所では使用しない。万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると、火災や故障や変色の原因になります。</p>   <p>禁止</p>
<p>●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は火災や感電の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的(1箇月に1~2回)に掃除してください。</p>   <p>確認</p>	<p>●吹出口や吸気口にピンや針など金属物等、また指を入れない。内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になるおそれがあります。</p>   <p>禁止</p>
<p>●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、重いものを載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。傷んだまま使用すると、火災や感電やショートの原因になります。</p>   <p>禁止</p>	<p>●燃焼器具の上や周辺など熱気があたる場所には設置しない。故障や変形のおそれがあります。</p>   <p>禁止</p>
<p>●電源プラグやスイッチを濡れた手で抜き差ししたり、触れない。感電の原因になります。</p>   <p>ぬれ手禁止</p>	<p>●本体内部のお手入れに塩素系・酸性・アルカリ性・電気ポット用洗剤(クエン酸等)の洗剤を使用しない。本体内部に残り、有毒なガスの発生や水漏れの原因になります。</p>   <p>禁止</p>
<p>●電源コードを重い物や製品の下に踏んで使用しない。電源コードが破損する原因になります。傷んだまま使用すると火災や感電の原因になります。</p>   <p>禁止</p>	<p>●排水するときは、水タンクをはずし、必ず右図の方向に排水してください。操作部側や送風口側に排水すると、水が回りこんで火災や感電やショートの原因になります。</p>   <p>排水方向から</p>
<p>●電源プラグの抜き差しにより本機の運転を停止しない。感電や火災の原因になります。</p>   <p>禁止</p>	<p>●異常時(水漏れ、こげくさい等)は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店または、弊社の「お客様相談窓口」にご相談ください。異常のまま運転を続けると、故障や感電や火災の原因になります。</p>  <p>電源プラグを抜く</p>
<p>●幼児の手の届く所で使用しない。感電や部品を誤飲する原因になります。</p>   <p>禁止</p>	

警告(WARNING)

●改造は絶対にしない。また修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。発火したり、異常動作して感電けかや火災の原因になります。修理は、お買い求めの販売店または弊社の「お客様相談窓口」にご相談ください。



分解禁止

●お手入れの際は、必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。



注意(CAUTION)

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源プラグを持って抜く。電源コードをもって引っ張って抜くとコード内部が断線して発熱・発火の原因になります。



禁止

●吹出口や吸気口の風をさえぎったり、塞いだりしない。発火や発熱や故障の原因になります。



禁止

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電やショートや発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店または、弊社の「お客様相談窓口」に修理依頼してください。



確認

●安全装置(フロートスイッチなど)を改造したり、働かないようにしない。フロートスイッチをテープなどで固定したり本機を横倒しにして使用すると、水タンクの水が空になっても自動停止せず、発熱や故障の原因になります。



禁止

●使用時以外またはお手入れをする際は、電源プラグをコンセントから抜く。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



電源プラグを抜く

●異常な振動や異音が出た場合は、使用を中止する。部品の落下等によるけがの原因になります。



指示

●落下した本機や水タンクは使わない。そのまま使うと破損箇所から水漏れして感電や発火やショートの原因になります。



禁止

●水がないときには電源を入れない。振動子の破損など故障の原因になります。



禁止

●加湿する水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的に掃除する。掃除せずにお使いになると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し悪臭の原因になります。体質によっては、過敏に反応し、健康を害する原因になります。この場合は医師に相談してください。



指示

●屋外で使用しない。屋内専用です。故障や感電の原因になります。



禁止

●1週間に1~2回以上、水そう部・振動子・フロートスイッチなどを掃除する。水垢等の汚れた状態で使用した場合、十分な性能を発揮しなかったり、カビ・悪臭の発生等により健康を害する恐れがあります。



指示

●障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所(棚などの高い所)では使用しない。事故や転倒や故障の原因になります。



禁止

●水道水(飲用)以外は使用しない。井戸水や汚れた水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、浄水器の水などは使用しないでください。カビや雑菌が繁殖しやすくなります。お湯や精油(アロマオイル等)・洗剤・薬品・香料を入れた水などは使用しないでください。変形(割れ)・故障の原因になります。



禁止

●本機は一般家庭でのご使用を対象にしていますので、食品・動物(飼育室等)・植物(温室等)・精密機器・美術品・コンピューター・ルーム・医薬品等の維持・管理や保存など、特殊用途では使用しない。また、ペット用の空調機器としての使用や車両・船舶への搭載はしない。本機自体やこれらの物の品質低下や劣化、故障の原因になります。予測できない事故が発生するおそれがあります。



禁止

●運転をしたまま、水タンクや吹出口をはずさない。水タンクや吹出口を外すときは電源を切ってください。水が飛び散り故障や感電の原因になります。また水柱に触れると痛みを感じたりして危険です。



禁止

●本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて水タンクを外してからおこなう。また引きずって移動しない。畳や傷の付きやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんの上では、持ち上げて移動してください。けがや床を傷つける原因になります。



指示

●給水は、必ず水タンクに給水する。水そう部に直接給水しない。送風口から水滴が入り、感電や漏電の原因になります。



禁止

⚠ 注意(CAUTION)

- お手入れは、手袋をはめておこなう。
けがの原因になります。



- 外出時や人のいない場所では使用しない。
予測できない事故が発生するおそれがあります。



- 保管する時は、器具の操作を知らない人(特にお子様)などが触れない所に保管する。
けがや事故の原因になります。



お 願 い

- 吸気口・吹出口をふさがず、室内の空気がよく循環する場所に置いてください。
性能低下や故障の原因になります。
窓や冷たい壁に霧がかかると、水滴となって窓や壁、床につくことがあります、カビなどが発生することがあります。



- 移動するときは、傾けたり、ゆすったりしない。
水そう内の水量が増えすぎて、加湿しにくくなります。



- 凍結に気をつけてください。
寒冷地などで凍結のおそれがあるときは、水タンク・水そう部の水を捨ててください。
凍結すると水タンクが割れたり、故障の原因になります。

炎色反応について

- ガス器具の近くでご使用になりますと、ガスの炎(通常は青色)がだいたい色になることがあります。これは水中に溶けているカルシウムなどが加熱されるときに特有の光を発する現象なので心配ありません。なるべく離してご使用ください。



加湿器の内部の付着物について

- 加湿器を使用していますと、加湿器内部の振動子周辺、送風口、水タンク(霧が通過する箇所)等に固化した付着物が付くことがあります。これは、水中(水道水)に含まれるカルシウムなど(ミネラル分)が集まり固化した物になります。放置しますと、故障の原因や付着物が固まってしまい取れなくなるおそれがあります。付着物はこまめにやわらかい布で取り除いてください。

アロマオイルについて

- 水タンク内には絶対にアロマオイルを入れないでください。
水タンクの変形や破損して水漏れしたり、器具の故障の原因になります。
- 必ずご使用されるアロマオイルの取扱説明書などの注意書きをよくお読みの上、ご使用ください。
- アロマポット・アロマキャップ・スポンジ以外(吹出口をはめ込む本体側を含む)にアロマオイルが付着した時は、きれいにふき取ってください。変色・変形・固着・ラベル類の剥がれの原因になることがあります。(アロマポットにまだアロマオイルが入っている時は吹出口を水タンクから取りはずしてから給水などの作業をしてください。)
※吹出口を水タンクに取り付けるときは、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。(6ページ参照)
- 本体内部までアロマオイルが入ったおそれがある時は、本体内部の水道水を捨てて、タンクキャップや本体内部の振動子と水そう部を洗浄してください。(8ページの「**6** 日常の点検・手入れ」参照)

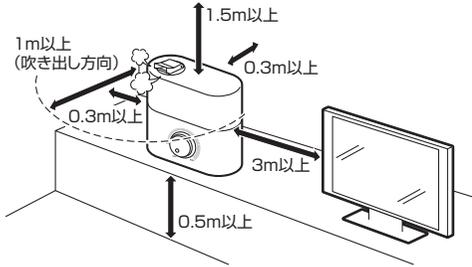


おやすみの際には…

- 本製品には自動加湿調節機能が備わっておりません。
夜間は室温が下がり結露しやすくなりますので、おやすみの際には運転を停止させるか、ひかえめな設定にしてください。

2 設置場所について

設置場所の基準寸法のめやす



- 図のように、周囲との距離を充分にとる。
(同じ部屋で加湿器を2台以上使用する場合は、間隔を0.6m以上離す。)
- テレビ・オーディオ等のAV、パソコン機器から3m以上離し、できるだけ別のコンセントを使用する。電波の弱い地域では、映像の乱れや雑音が出ることがあります。

白い粉について

- お使いになる水によっては、加湿器から吹出す霧が蒸発すると白い粉となって周辺に残ることがあります。これは霧の中(水道水)に溶解しているカルシウムなど(ミネラル分)が固化したのになります。電気製品や精密機器(パソコン)などや家具などの近くで使用すると白い粉が付着し、故障したり家具などを傷める原因になります。白い粉が付着したときは、早めにやわらかい布などでふきとってください。



こんな場所には設置しない

落下物の心配がある場所、凹凸のある場所では使用しない

不安定な物をのせた棚などの下、凹凸がある不安定な場所では使用しないでください。思わぬ事故や誤作動の原因となります。

窓や冷たい壁からは、できるだけ離して風通しの良い場所で使用する

窓や冷たい壁に霧がかかると、水滴となって窓や壁、床につくことがあります、カビなどが発生することがあります。風通しの良い場所で使用してください。

直射日光が当たる場所、暖房機の上や近く、温風があたりところ

変形・変色することがあります。また、水タンクの圧力が上がり、霧の出かたが少なくなることがあります。

霧が家具・壁・カーテン・天井・電気製品や精密機器(パソコン)などに直接あたるところ

故障したり、家具などにしみが付いたり、変形の原因になります。

電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多いところ

正常に動作しない場合があります。

傾斜のあるところや不安定な場所

本体が傾くと、加湿量が変化したり、フロートスイッチが作動して運転が停止することがあります。

じゅうたん・電気カーペット・ふとんなどの上

毛足が長いじゅうたんのうや、ふとんのうなどに置くと、吸気口がふさがれて霧の出かたが悪くなります。また、内部温度が上昇して水があふれたり、安全装置が誤作動することがあります。

フローリング床や塩化ビニル製のシートやクッションフロアなどの上

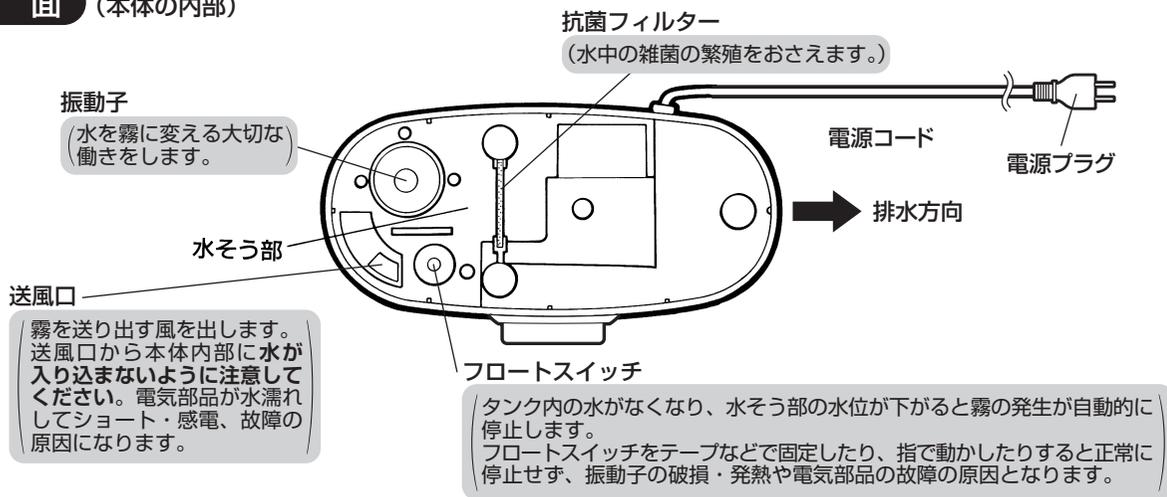
場合によっては加湿器の底面のゴム脚の跡が床面についてしまうことがあります。

3 各部のなまえとはたらき

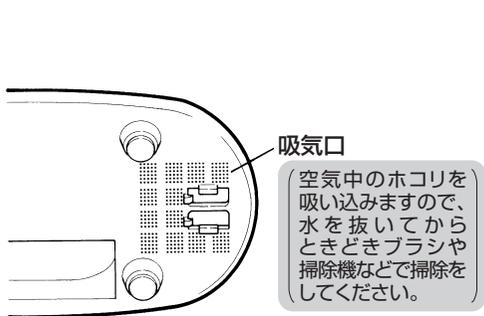
前面



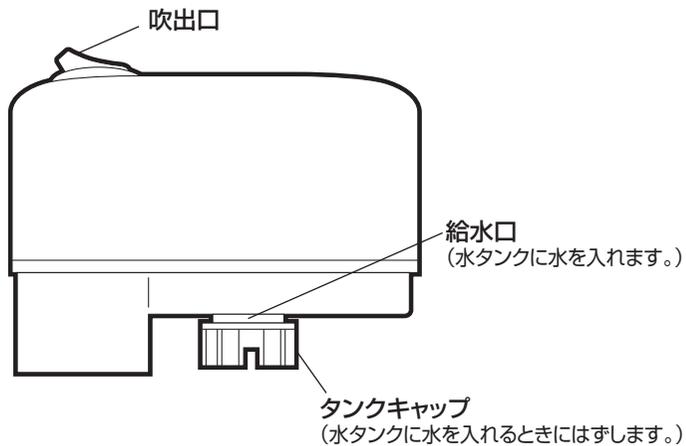
内面 (本体の内部)



底部



水タンク



4 使用前の準備

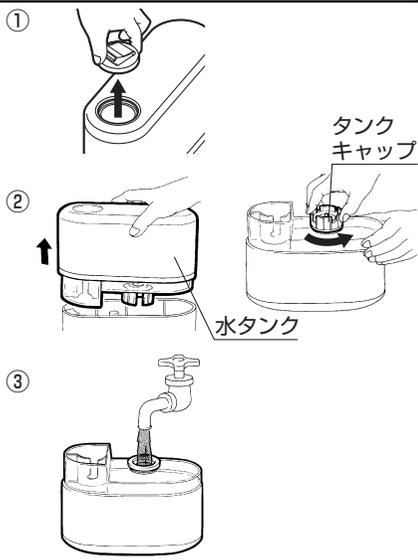
1. 水タンクを洗います。

 注意	●給水は、必ず水タンクに給水する。水そう部に直接給水しない。送風口から水滴が入り、感電や漏電の原因になります。	 禁止
	①吹出口を水タンクからはずしてください。	

お願い

- アロマキャップを閉めて吹出口をはずしてから水タンクを移動してください。開けたまま移動すると、オイルがこぼれ、変色・変形する原因になることがあります。

- ②水タンクを本体からはずし、タンクキャップを上にして、左「」に回して取りはずしてください。
- ③給水のつど、水タンク内を次の順序で洗ってください。
 - (1)水タンクに水道水を1~2L(水タンクの約1/2程度)入れてください。
 - (2)タンクキャップを右「」へ回して、しっかり締め、ふり洗いして水タンク内の汚れを取り除き、水を捨ててください。



お願い

- 洗剤は使用しないでください。水タンクに残った洗剤の成分が水そう部に流れ、振動子に付着すると霧の量が少なくなり、故障の原因になります。

2. 水タンクに水道水(飲用)を入れてください。

 注意	●水道水(飲用)以外は使用しない。 ●井戸水や汚れた水やお湯、水道水に洗剤や薬品や香料や精油(アロマオイル等)などを入れて加湿しない。健康を害する原因になります。本機の故障や破損の原因になります。	 禁止
	●運転をしたまま、水タンクや吹出口をはずさない。水タンクや吹出口を外すときは電源を切ってください。水が飛び散り故障や感電の原因になります。また水柱に触れると痛みを感じたりして危険です。	 禁止

お願い

- 水タンクに水を入れるとき、持ち運ぶときなどに、誤って水タンクを落としたりすると破損します。充分に注意してお取り扱いください。
- 給水のとき、水タンクの給水口に水道の蛇口を直接差し込んで給水することはおやめください。水タンクが破損することがあります。

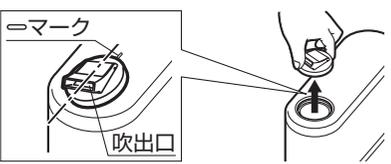
3. タンクキャップを右「」に回して、しっかり締め、水濡れがないことを確認して水タンクを本体にセットしてください。

お願い

- 水タンクを本体からはずしたまま、放置しないでください。暖房器具の熱や直射日光で温度が上がると、水タンク内の空気がふくらみ、タンクが変形することがあります。

4. 吹出口を水タンクにセットしてください。

5. 電源プラグをコンセント(家庭用AC100V)に確実に差し込む。

■吹出口の外しかた 「  マーク」を目印に図のように合わせてから、吹出口を取り外してください。	■吹出口の取り付けかた ①「  マーク」を目印に図のように合わせて吹出口をセットしてください。 ②吹出口を水タンクに押し込んでください。
	
	「カチッ」と音がするまで押し込む。

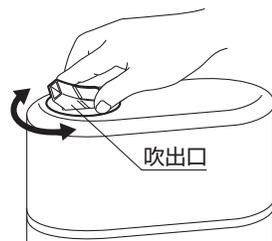
5 使いかた

1. 吹出口をお好みの方向に向けます。

- 吹出口を霧を出すお好みの方向に向けてください。

お願い

- テレビや家具、カーテンなどに霧が直接かからないよう、吹出口の方向に注意してください。
- 電源スイッチを「ON」にしたまま水タンクをはずしたり、本体を傾けたり、揺らしたり、転倒させないでください。本体内部に水が入る等故障の原因となります。



2. 加湿調節つまみを回して、電源スイッチを「ON」にします。

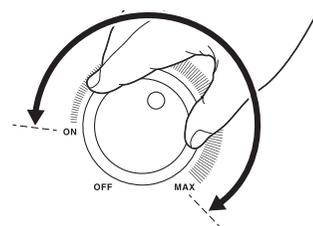
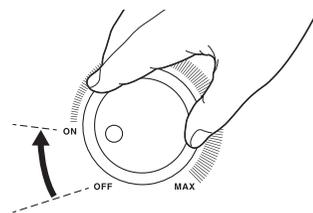
- 加湿調節つまみを「OFF」から「ON」に回してください。

3. 加湿量を調節します。

- 加湿調節つまみを「ON」から「MAX」の間で、お好みの加湿量に調節して、ご使用ください。
- 加湿量を少なくしたとき、周囲の温度や湿度によっては、霧がすぐに蒸発して見えない場合があります。

お願い

- 加湿調節つまみ位置が同じでも霧の量は一定ではありません。水温や室温が低いと霧の量が少なくなり、20～30分運転すると徐々に多くなります。また、その日の室温や天候でも変化します。長時間連続加湿される場合は注意が必要です。



4. 水がなくなったら、水タンクに水を補給します。

お願い

- 水を補給するために水タンクをはずすときは、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にしてください。
- 水がなくなると、フロートスイッチが働いて、吹出口から霧が出なくなります。送風を止め(電源スイッチを「OFF」に)、水タンクに水を補給してください。

5. 霧が多いときは、加湿調節つまみで調節します。

- その時の温度や湿度によって霧で床をぬらすことがあります。こまめに加湿調節つまみで霧の量を調節してください。

6. アロマポットの使いかた(アロマ運転)

- アロマオイルは、市販品をお買い求めください。

①アロマキャップを開けます。

芳香用のスポンジをアロマポット内へ入れます。(お買い求め時はスポンジはアロマポット内に入っています。)

②アロマオイルをアロマポット内のスポンジに染込ませます。

お願い

- アロマオイルは、3～5滴を目安にスポンジに染込ませてください。それ以上入れたり、スポンジを取りはずした状態でアロマオイルを滴下すると、こぼれたり、変色・変形・固着の原因になることがあります。
- アロマポット・アロマキャップ・スポンジ以外にアロマオイルが付着した時は、きれいにふき取ってください。変形・変色・固着・ラベル類の剥がれのおそれがあります。

③アロマキャップを閉めて加湿器を運転します。

- 移動するときは…

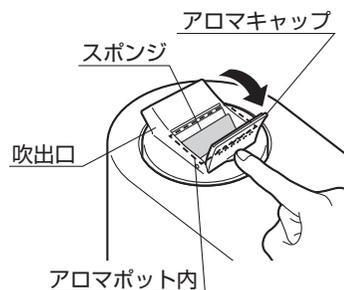
アロマキャップを閉めてから移動させてください。

開けたまま移動すると、アロマオイルがこぼれ、変色、変形、固着の原因になることがあります。

- アロマオイルの香りをかえるときは…

①吹出口を取りはずし、アロマポット内からスポンジを取り出してください。

②アロマポット内とスポンジを食器用中性洗剤で洗ってください。洗剤が残らないように水でよくすすいでください。



新しいスポンジに交換したい場合は、販売店で買い求めいただけます。

■スポンジ(交換部品)

商品コード:11231655



(3個入)

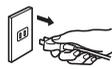
6 日常の点検・手入れ

警告

- 改造は絶対にしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造はしない。発火したり、異常動作して感電・けがや火災の原因になります。修理は、お買い求めの販売店または弊社の「お客様相談窓口」にご相談ください。
- お手入れの際は、必ず電源スイッチを「OFF」にして電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。
- 直接水をかけたり、水につけたりしない。水がかかると、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、火災や感電の原因になることがあります。



分解禁止



抜く



水ぬれ禁止

■水タンクの掃除(給水のつど、おこなってください。)

- 水タンクに給水するつど、水タンクに1/2程度の水を入れ、ふり洗いして、水タンク内の汚れを取り除いてください。(「4 使用前の準備」を参照してください。)

■水そう部・振動子・フロートスイッチなどの掃除(1週間に1~2回以上)

お願い

- ベンジン、シンナー、洗剤、薬品類、みがき粉、化学雑巾などは使用しないでください。また、熱湯(40℃以上)で洗わないでください。変形、変色、変質の原因になります。
- 送風口・操作部・吸気口などから内部に水が入らないようにしてください。
- 水垢など加湿器の内部の付着物は、放置すると固まって取れなくなるおそれがあります。必ずこまめにお手入れをしてください。

1.水タンクをはずし、水そう部の水を捨てます。

絶対に操作部側や送風口側に排水しないでください。電気部品が水濡れして危険です。

2.振動子の表面、フロートスイッチを手入れします。

- 振動子の表面は、綿棒や柔らかい布でふいてください。振動子の表面に汚れや傷がつくと霧の出かたが少なくなったり、故障の原因となります。振動子表面が傷ついたり、振動子が破損したりする原因となりますので、金属製のブラシでこすったり、衝撃を与えたりしないでください。
- フロートスイッチの周りのゴミや汚れは綿棒など使って取り除いてください。ゴミや汚れが溜まるとフロートスイッチが正常に作動せず、故障の原因となります。

3.水そう部の掃除をします。

- 水そう部の内部の汚れは、綿棒やスポンジなど柔らかいものを用いて洗ってください。

お願い

- 洗剤は使用しないでください。洗い流せなかった洗剤の成分が振動子に付着すると、霧の量が少なくなり、故障の原因になります。

■吸気口の掃除(1箇月に2回以上)

本体底の吸気口に付着したほこりを掃除機などで取り除いてください。

■本体の掃除

柔らかい布でふいてください。落ちにくい汚れは、中性洗剤溶液に浸した布を固くしぼってふき取り、そのあと洗剤が残らないように水ぶきしてください。

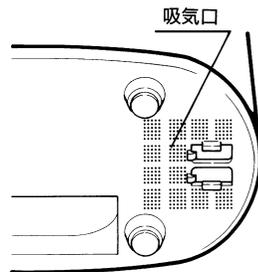
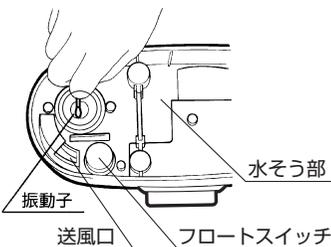
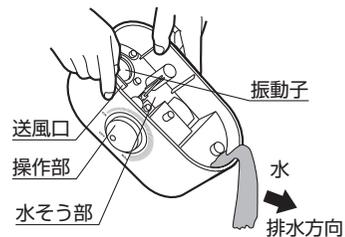
■アロマポットの掃除

吹出口を取りはずし、アロマポット・スポンジを食器用洗剤で洗ってください。そのあと洗剤が残らないように水でよくすすいでください。

※吹出口を水タンクに取り付けるときは、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。(6ページ参照)

■電源プラグ・コンセント(1箇月に1回以上)

- 電源プラグ、コンセントにほこりや汚れがたまると、火災の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。



7 修理を依頼される前に

次の表に従ってお調べいただき、それでも具合の悪い時は、お買い求めの販売店または弊社の **お客様相談窓口** にご連絡ください。

症状	原因	処置
風も霧も出ない	●電源プラグが、コンセントにしっかり差し込まれていますか？	●電源プラグを、確実にコンセントに差し込む。
	●電源スイッチが「ON」になっていますか？	●電源スイッチを「ON」にする。
風は出ているが霧が出ない	●水タンクに水が入っていますか？	●水を補給する。
	●フロートスイッチに水あかや鉄片が付着していませんか？	●フロートスイッチを掃除する。 →8ページ
	●振動子の寿命。	●振動子を交換する。 (販売店に依頼してください。)
霧の出かたが少ない	●振動子の表面に水垢や堆積物がたまっていますか？	●振動子を掃除する。 →8ページ
	●水温や室温が低くありませんか？	●給水温度、室温が低いときは、20～30分運転するとやがて多くなります。
	●加湿調節つまみが「ON」を少し過ぎた位置になっていませんか？	●加湿量が少なく調節されています。加湿調節つまみを「MAX」の方向へ回して、加湿量を多くしてください。
	●水が水そう部にたくさん入っていませんか？	●コンセントから電源プラグを抜き、いったん水そう部の水を捨ててから、水タンクをセットし直してください。
	●油や洗剤や薬品などが水に混入していませんか？	●水タンクと水そう部の水を捨て、すすいだ後、乾いた布で水滴をよくふき取ってから、セットし直してください。
本体より水がもれる	●水タンクが割れていたり、ヒビが入っていませんか？	●水タンクを交換する。 (販売店に依頼してください。)
床が濡れる	●室温が低くありませんか？	●室温が低いと床濡れし易くなります。室温を上げてください。加湿量を調節してください。
	●床の上で使用していませんか？	●床の上に設置しますと、床濡れし易くなりますので、台の上などに設置してください。
ピチャピチャと音がする	●振動子から発生する超音波振動により、水面から吹き上がった水がたまった水に落ちるときの音です。	●故障、異常ではありません。

8 保管・廃棄のしかた

■保管のしかた

保管する場合は **6 日常の点検・手入れ** をおこなってください。

水タンク、本体の排水後は、陰干ししてよく乾燥させてから、包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて高温多湿の場所をさけて、保管してください。

■廃棄のしかた

製品を廃棄するときは、各自治体の指導に従ってください。

9 仕様

型 式 の 名 称	TUH-N35M	
種 類	超音波式	
使 用 水	水道水	
製 品 能 力 電 気 特 性	加 湿 能 力	0.35L/hまで無段階調節
	連 続 加 湿 時 間	約8.5時間(最大加湿時)
	適 用 床 面 積 の め や す	6~10畳
	水 タ ン ク 容 量	3L
	電 源 ヒ ュ ー ズ	125V 1A
	電 源	単相100V 50/60Hz
	定 格 消 費 電 力	43/41W
電 源 コ ー ド	約2m	
外 形 寸 法	高さ300×幅260×奥行135mm	
質 量	2.3kg(水を除く)	

10 保証とアフターサービス

- この製品には保証書がついています。(裏表紙についています)
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入の日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、無料修理規定をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、ご購入のの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。費用など詳しいことはご購入のの販売店にご相談ください。
弊社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 加湿器の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後6年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、ご購入のの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申し付けいただくときは、右のことをお知らせください。

型 式…TUH-N35M
故障状態…できるだけ詳しく
ご氏名・ご住所・お電話番号
ご購入の年月日

- アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合、ご購入のの販売店または下記の「お客様相談窓口」までご相談ください。
- ご贈答、ご移転により、ご購入のの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、販売店または下記の「お客様相談窓口」までご相談ください。

11 お客様相談窓口

製品についてのお問い合わせ、故障修理のお問い合わせはご購入のの販売店にご連絡ください。
販売店にお問い合わせできない場合は、下記の「お客様相談窓口」までご連絡ください。

株式会社 トヨトミ お客様相談窓口



0120-104-154

FAX 052-857-1220

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
※土・日・祝日は除く

ホームページ <http://www.toyotomi.jp/>

トヨタ トヨタ 超音波加湿器 保証書

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。

お買い求めの日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

型 式 TUH-N35M 保証期間 お買い求め日より1年間	※販売店名・住所・電話番号
※お買い求め日 年 月 日	
※お客様 姓 氏名 様	
〒 □□□□-□□□□	
ご住所	
[電 話 ()]	

※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は有料修理となりますから必ず確認し、購入証明書(領収書)を保管してください。

【 無 料 修 理 規 定 】

- お買い求めから上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い求めの販売店または弊社が無料修理致します。
 - 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または弊社にご依頼ください。
 - ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、弊社までお問い合わせください。
 - 保証期間内でも、次の場合は有料になります。
 - 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い求め後の本機の転倒、落下、衝撃等による故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
 - 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い求め年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。ネット販売等を利用した個人売買品や譲渡品、中古品の修理。
 - 部品の消耗による部品交換及びメンテナンスの費用。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、弊社の「お客様相談窓口」までお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。
- お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

修理メモ

株式会社 トヨタ トヨタ

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町 5 番 17 号

お客様相談窓口



0120-104-154

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
※土・日・祝日は除く

FAX 052-857-1220
ホームページ <http://www.toyotomi.jp/>